

# のり養殖通報第9報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成 27 年 1 月 21 日発行

## [気象] 今後は一時的に気温上昇

- 1 月は周期的に冬型が強まり強い季節風が吹いているが、気温は平年をやや上回る日が多くなっている (図 1)。
- 1 月上・中旬の木更津観測所における降水量は 40.5 mm (平年 35 mm) , 平均日照時間は 6.8 時間/日 (平年 5.8 時間) 。晴天が多いが周期的にまとまった降雨があり降水量は平年を上回った。
- 気象予報によると、今後は一時的に気温が平年を大きく上回る可能性があるが、その後は寒暖の変動が激しくなり、気温は平年並み前後で経過すると予報されている。

## [海況] 湾奥部で植物プランクトンやや増加。栄養塩は全域で十分

- 20 日現在、浦賀水道航路付近に水温 15℃ 台の暖水が波及しており、内房ののり養殖漁場にも影響を与えている。新富津のり漁場における観測値では水温は 11~14℃ の間での変動が続いている (図 2) 。今後も外洋水の動向に注意が必要。
- 1 月 19~20 日に実施した東京湾の観測結果では、表層水温は概ね内湾 8~10℃ 台、内房ののり養殖漁場は 11~12℃ 台。半月前と比較すると内湾では約 1~2℃ 低下した。内湾では植物プランクトン (スケルトネマ等の小型珪藻) がやや増え透明度が低下した地点があるが、まとまった降雨による補給もあり、現時点では栄養塩は十分な量が含まれている (右表) 。

## [今後の見込みと留意点] 良好な海況継続

- 強い季節風が吹き収穫のペースが上がらないが、引き続き、海況的には良好で色調の良いノリの生産が期待できる。良質ノリを増産し、生産のピークを築いて下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。  
次回は 2 月 5 日頃発行します。

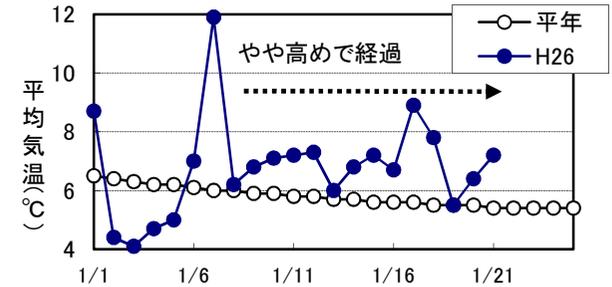


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

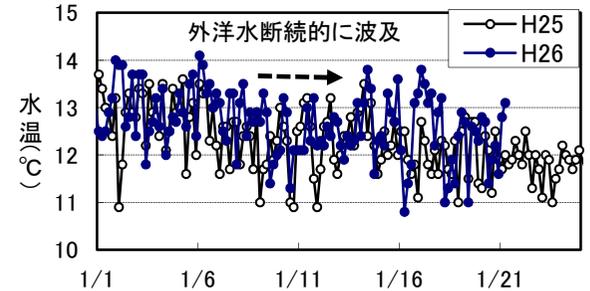


図2 昨年と今年の水温経過(新富津観測ブイ)

表 1 水質観測結果(内湾 1/19, 内房 1/20)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	8.8	31.7	8.5	2.9	520	20
盤洲 C ブイ	9.6	31.8	8.5	3.5	557	24
盤洲 A ブイ	10.2	32.4	8.4	4.2	557	31
富津ベタ	10.2	32.5	8.3	4.4	523	30
2 海ほ下	11.2	32.9	8.3	6.2	413	31
1 海ほ下	11.2	32.9	8.2	7.0	426	29
下洲ベタ	12.7	33.7	8.3	7.5	263	22
大貫ベタ	11.4	33.4	8.3	5.3	293	22
湊ベタ	11.2	33.5	8.2	5.6	256	19

\*溶存無機態窒素 (μg/l) 、 \*\*リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素 100, リン 10